

こんにちは

日本共産党市会議員

森田 ゆみ子 です



子どもには笑顔
若者に仕事を
老後には安心を。



2016/10/30 号 日本共産党京都市会議員団 tel 222-3728 fax 211-2130
市会議員団ホームページ<http://cpgkyoto.jp/> 森田ゆみ子ホームページ<http://morita-yumiko.jp/>

■ みんなで力を合わせ、社会保障改悪ストップ、安倍内閣暴走ストップの世論と運動を。

安倍内閣のもとで、社会保障の大改悪が進められています。市長も、政府の改悪を市民に押し付けてきています。

介護保険についても大変な改悪が押し付けられようとしています。みんなで力を合わせて改悪ストップの世論と運動をひろげましょう。

○来春から、「要支援1・2」の人に対するヘルパー派遣と通所サービスが制限される予定です。

・政府は、その制限の対象を「要介護」の人にまで拡大したい方向です。

・事業所にとっても、大幅収入減となり、施設の存続自体が危ぶまれているほどです。

○老人ホーム入所は、原則「要介護3」以上に限定。

○保険料は三年ごとにあがります。

○現在40歳以上の人たちの保険料支払い義務を、もっと若い人たちにまで拡大しようと政府は考えています。

○現在は無料のケアプラン作成も有料化したいとの政府の意向。

○利用料も従来の1割負担から、一定以上の収入の人は2割に負担と既に改悪されましたが、

政府はさらにこの収入基準を切り下げようとしています。

○市長は、「国も財政が大変だ」とこれらの政府の方針にすべてしたがっています。



■ 11月市会で代表質問に立ちます。ぜひ傍聴に来てください ■

11/30に予定されている本会議で、初めて代表質問に立ちます。地元の声をもとに質問します。ぜひ傍聴に来てください。

～この間の議会活動より～

9月議会が10月26日まで行われましたが、市議会決算特別委員会の分科会で、南区のみなさんの声をもとに、地域要求などについて質問・追及しました。

○南区のバス停に屋根とベンチを

久世の全バス停調査に結果をもとに、可能な限りベンチと上屋（屋根）の設置をと要求。担当の部長からは、「可能なところは設置している」といつつ、「（道幅が）狭いところは民地を借りるなど設置するための努力を行っていく」との答弁を得ました。

○バスの乗り継ぎ無料化を

南区はバス路線が不便で、目的のところにいくには何回も乗り換えなければならない。京都市は一本で行けるよう努力すべきだが、せめて運賃は一回分で済むように乗り換え無料にすべきと追及しました。「乗り継ぎ無料は市バス財政の厳しさから運賃収入に影響するのでできない」との答弁でした。市民がどんどん外出して買い物するなど町の活性化をするためにも無料化の努力をと求めました。

○AEDの管理について

京都市はAEDの設置個所を積極的に増やしているが、その機器の管理は設置者任せになっています。日常的なメンテナンスが必要なので、市としても責任もつことを求めました。



○堀川・西高瀬川の南区下流域の下水処理の改善を

大雨の際の堀川・西高瀬川の下流域の汚水の問題について市当局をただし、改善の答弁をひきだしました。

京都市では広い地域で汚水と雨水を一本の污水管で集める合流式下水道となっていて、大雨になるとあふれた雨水とともに汚濁物が河川に流入してきます。南区の堀川・西高瀬川の下流域でも、下水処理センターからの汚濁物が流れ消毒液と下水の臭さがあり、改善を市の担当部局に質問。担当部長から「H35年までに順次改善事業を進めている」との答弁を引き出しました。「地元住民にとっては、我慢できない状態であり、一刻も早い改善を」と要求しました。

森田ゆみ子活動日誌

～ 森田ゆみ子のホームページより

■ 時代まつり

10月22日、25年ぶりに吉祥院学区が「時代まつり」の当番学区ということで、かつて分校した祥栄学区・祥豊学区とともにパレードしました。朝8時から私の家の近くにお住まいの自治連



会長の野村さんご自宅から、地元のパレードが始まり、昼12時から御所より平安神宮まで、京都ゆかりの歴史上の人物に扮した地元自治会の役員さんたちが、パレードしました。

■ 十条通り自転車道路の真ん中にあるバス停ベンチ改修

十条通りにある23か所のバス停ベンチの内6か所が、自転車道路の真ん中に固定されており、以前から「危ない」と交通局に改善の要望を出していました。この度、4か所が改修され、上屋付きのベンチができました。写真は、吉祥院天満宮前の南側バス停。（上の写真が改修前、下の写真が改修後）

